

令和 6 年度第 2 回白井市立図書館協議会（概要）

- 1 開催日時 令和 7 年 2 月 27 日（木）15：00～16：50
- 2 開催場所 白井市文化センター2 階 中ホール（かおりホール）
- 3 出席者
 委 員 志摩副会長、堀江委員、吉弘委員、進藤委員、大西委員、安田委員
 事務局 高花センター長、藤田館長、佐々木副主幹、高嶋主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 副会長あいさつ
- 6 報告事項
 - (1)令和 6 年度主要事業中間報告及び利用状況について
 - (2)令和 6 年度資料購入状況について
 - (3)先進施設の視察について
 - (4)開館 30 周年記念事業について
- 7 協議事項
 - (1)令和 7 年度主要事業計画(案)について
 - (2)令和 7 年度資料購入計画(案)について
 - (3)新サービスについて(利用カードのスマホ表示)
 - (4)図書館システム更新について
- 8 その他
- 9 配布資料
 - (1)会議次第
 - (2)会議資料
 - (3)文化センターだより 3 月号
- 10 議 事 以下のとおり

副会長	会長に代わりまして司会を承りました。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	報告事項 (1)令和 6 年度主要事業中間報告及び利用状況について (2)令和 6 年度資料購入状況について
委員	個人利用状況の中で入館者数はどのようにチェックしているのか。
館長	図書館の出入り口に、入場人数をカウントができるセンサーを付けている。出入りがあるので往復で 1 カウントとなる。
委員	学習室の利用者もカウントできるのか。

館長	学習室には入場者カウンターはない。利用人数は目視で数えている。
委員	他の自治体も同じか。
館長	他市町村の図書館では学習室の利用者をシステムで管理しているところもある。
委員	人口減という現状もあるが、入館者数が令和 5 年度と比較して 96%となっているがどうか。
館長	図書館の来館利用が前年度より減ってきているということだと思われる。
委員	誤差の範囲だということでもいいか。
館長	はい。
委員	資料の購入状況で逐次刊行物に関して同じ 1 月末の数字でも前々年度、前年度、今年度と徐々に執行率が減っているようであるが理由はあるのか。
事務局	年度末には執行率が上がる予定である。
委員	刊行物は金額面で事前に予測が立てやすいと思うが、執行率が低すぎるのはなぜか。
事務局	値上がりを見越して上昇率をかけているのと、新聞 1 紙の休刊があったことによる。
委員	値上げ上昇率に関しては予備費での対応にした方が良いのではないか。
事務局	参考にさせてもらう。
事務局	(3) 先進施設の視察について (4) 開館 30 周年記念事業について
委員	視察については、文化センターの大規模改修に向けてのものであったと思うが、予算も含めた概要は決まっているのか。差支えない範囲で教えて欲しい。

センター長	その他のところでお話しするつもりでいた。大規模改修の基本計画をどのように進めるかというのは、事務方で案を作って提示するものではなく、計画の途中の段階でこんなことを考えているかどうかといったことを協議会の議題として出してお意見をいただくスタンスである。令和４年度にあり方検討委員会が終わり、令和５年度に教育委員会の方針が出て、今年度は大規模改修の基本計画策定の補助をしてくれる会社を委託して、その会社と二人三脚でいろいろと計画の進め方を決め検討しながら、協議会でもご相談しようと思っていた。７月に募集をして１１月に契約を締結してから、本来であれば今日何らかの資料をご提示できるつもりで年度当初はいたが、応募があった業者の辞退があつて契約が流れてしまった。これにより今年度の検討期間がなくなってしまったので、今年度の予算を全額減額し、令和７年度の当初予算で改めて計上することとした。遅れをなるべく取り戻すため既に募集を開始している。令和７年度早々に契約をしてもう一度仕切り直しをして、次の会議ぐらいからご意見をいただく機会を設けたいと考えている。
委員	業者に発注するとしても大枠の仕様書みたいなものがあると思うが、市役所の意思として予算がどのくらいで、どんなイメージで考えているのか。
センター長	本日は細かい資料を用意していない。ホームページで募集をしていてそこに実施要領と仕様書案を掲載している。議会の議決が大前提だが、予算可決を前提に募集をかけている。予算額としては約４,６００万円。実施要領の中では、教育委員会で決めた方針もあるので、それをもとにどのような検討ができるか提案してもらう募集の仕方をしている。もしよろしければ、ホームページを見ていただき、ご質問等あれば担当もいるので回答させていただく。
委員	ホームページを見て勉強させていただく。
副会長	視察については参加できなかったのが個人的に２施設を見て来た。とみらいテラスには子どもの本についてのコンシェルジュがいて、どういう方がされているのか質問させていただいたら、学校の先生を引退された方とか福祉施設で仕事をしていた方がされているとのこと。私は子育て支援センターで小さい子どもとかお母さんに絵本の読み聞かせをすることがあるが、そこでどんな本を読んだらいいのという質問がすごく多い。図書館に行ったら本を破いたりなめたりするのが心配で図書館の本を借りに行けないというお母さんがいる。またどうやって本を選んでくるのかとよく質問される。私は図書館に行けば司書がいて聞いたら答えてくれることは知

	っているが、知らないお母さんもいる。どんな本がありますかというような漠然とした質問が気楽にできない。何でも聞いてちょうだいみたいなコーナーが白井にもあったらいいと希望する。
館長	利用者と接するカウンター、特に児童カウンターでは優しい感じで話しかけやすいような雰囲気を中心に掛けてはいるが、至らないことも多いと思うので、来館されたときに具体的に直接ご助言いただけるとありがたい。
委員	子ども向けカウンターの話しですが、子どもが気軽に利用できる体制が本当に求められるものであるし、あるとありがたいと思うので私も賛成だ。白井の図書館のカウンターの方は正に優しい雰囲気で座っていてくれて、お母さんにその優しい雰囲気が届くと子どもも心を開いて、私も子どもが二人いるが来ると楽しく利用させてもらっている。支援センターのお母さんがいろんな心配をなさるという話にグッとこまして、特性があって図書館の利用をためらってしまうお母さんがいるし、そういうおかあさんこそ幼稚園に行かない、小学校に行かないという平日の時間帯を持ってしまうがちなと思う。平日の昼間の行き場で小学生が行きやすい、小学生未満の子でも行ってどんな本読んでいいのかな、汚しちゃうけど心配なく過ごせるのかなというところを救ってもらえるような、そんな雰囲気が今あると思うんですけど引き続きお願いしたい。
館長	本のページを破いてしまった場合、弁償してもらうこともあるが、こちらで修理できるものもある。破いてしまったら自分で修理せずに、そのまま持ってきて欲しい。
副会長	子育て支援センターに行った時も子どもが本を破ってしまった時、図書館ではセロテープを使わず、専用の補修テープを使っているという話をした。図書館では本を破ったら絶対読めないというのではなく、ある程度のものはまた読めるように修理できることも伝えていきたいなと思いました。そして多くの人たちが恐れずにたくさん図書館を使って、子どもたちがたくさん絵本を読んで、図書館が勧めている絵本おすすめリストがあるが、南山フレンドとか西白井の子育てセンターなどに配布してもよいか。そこのお母さんたちにお勧めしてよいか。
館長	はい。ありがとうございます。
事務局	4. 協議事項 (1)令和7年度主要事業計画（案）について

	(2)令和 7 年度資料購入計画（案）について
センター長	展示のところで来年は戦後 80 年という説明があったが、教育委員会では、来年度から平和教育の一環で中学生を平和使節団として広島に派遣することを計画している。これに合わせて図書館、郷土資料館でも平和教育に関わることをできたらと思う。
委員	リサイクルについてですが、雑誌の保存期限が短いのではないか。読みたいと思っていた 5 年以上前の雑誌が除籍になっていたため読めなかった。
館長	雑誌に関しては刊行頻度により保存期間を定めている。収納場所に限りがあるので、すべてを保存するのは無理である。白井に所蔵がない雑誌は、県立をはじめとした県内図書館などから取り寄せて提供できるので、そちらを利用して欲しい。
副会長	私も古い資料で白井にないものを他の図書館から相互貸借で取り寄せてもらい利用したことがある。
事務局	(3) 新サービスについて（利用カードのスマホ表示） (4) 図書館システム更新について
委員	図書館利用カードをスマホでというのはとても良い試みだと思う。スクリーンショットでも使えるのか。
事務局	スマホ専用メニューからログインするとマイページで利用カードのバーコードが表示される。専用の赤外線ハンディスキャナーで処理をするので基本スクリーンショットは使えない。
委員	図書館システム更新に関して、国の交付金のところでデジタル技術の活用とあるが、利用カードのスマホ表示もそうだと思うのだが、マイナンバーカードのみが今回の趣旨に合っているということか。
事務局	スマホ表示に関しては事前に決まっていた。今年度の事業となる。交付金申請に関しては来年度事業となり、マイナンバーカードとの連携が重要なポイントとなっている。
委員	スマホで借りる時は、手続きの場所はどこになるのか。

事務局	あくまでも今使っている利用カードと同じ役割となるので、セルフ貸出機が貸出カウンターでの貸出しとなる。 5. その他
センター長	先ほど議題(4)の中でご質問が出たのでお答えしているが、文化センターの大規模改修については令和7年度から協議させていただきたいということをお話しする予定だった。
委員	思いを2つお話しさせていただきたい。ひとつは大規模改修の予算を聞いたときにちょっと寂しいなと思った。今の図書館の置かれた状況で地下の電動書架の修理と、ＩＣタグ化を具体化するとそれでおしまいになってしまう。物理的なリニューアルは難しいのではないかな。そうすると図書館の向上を図るためには、ソフト開発が益々必要になるのではないかな。例えば白井の図書館は梨のことを聞いたら何でもわかるというように一つの特徴を持った図書館のありようも考えられるのではないかな。2つ目は先ほどセンター長の方から中学生が広島へ行くとのことだが、原爆ドームを見に行くと思うが、全く個人的思いであるが、近くの江田島に教育参考館があるが、このふたつを見れば平和とは何かを学校で座って学ぶより、とても良い勉強になると思う。
センター長	4千万は基本計画を策定するための業務委託に係る予算、つまり大規模改修をどのようにするかを決めるための経費で、実際に改修する費用はもっと高額にはなる。また中学生派遣の平和使節団は教育支援課の来年度事業で平和式典に参加することになっていると思う。ご提案いただいたところに行くかどうかは把握していない。
センター長	今日が今期の最後ということで御礼を申し上げます。委員の皆さまにおかれましては、令和2年7月から3年間ありがとうございました。図書館運営に関して、それぞれのお立場から経験に基づく非常に貴重なご意見を多数いただき感謝しております。今後の参考にさせていただきます。
副会長	これで令和6年度第2回白井市立図書館協議会、そしてこのメンバーでは最後となる図書館協議会を終了します。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。